

## 化学的酸素要求量、窒素含有量及びりん含有量に係る総量削減計画について

国では、令和 6 年度から次期総量削減基本方針の在り方検討に着手しており、令和 6 年 10 月に中央環境審議会（以下「中環審」という。）に第 10 次水質総量削減の在り方について諮問している。

現在、中環審において検討が進められる中、令和 7 年 2 月からは水質総量削減制度の取組状況について関係者ヒアリング（計 3 回の予定）が実施されている。本県も第 3 回総量削減専門委員会（3 月 14 日開催：ヒアリング 2 回目）でヒアリングを受けている。[資料 8 - 2](#)

今後、中環審で在り方を審議した後、パブリックコメントを経て、令和 7 年冬頃までに在り方答申がなされる予定である。

その後、国が総量削減基本方針を策定、本県ではその基本方針をもとに、第 10 次総量削減計画及び総量規制基準の策定作業に着手することとなる。

### 【参考】

- ・ 総量削減計画とは、水質汚濁防止法第 4 条の 3 の規定に基づき、都道府県知事が国の「化学的酸素要求量、窒素含有量及びりん含有量に係る総量削減基本方針」に定められた都道府県別の汚濁負荷量（化学的酸素要求量（COD）、窒素含有量、りん含有量）の削減目標量を達成するために必要な対策を定めるもの。
- ・ また、総量規制基準は、総量削減計画に基づき、指定地域内事業場（日平均排水量が 50 立方メートル以上の特定事業場）の排出水の汚濁負荷量について定めるもの。
- ・ 本県では、昭和 54 年から 9 次にわたり、国の総量削減基本方針に基づく総量削減計画を策定し、総量規制等の対策を実施している。

# 中央環境審議会水環境・土壌農薬部会 総量削減専門委員会

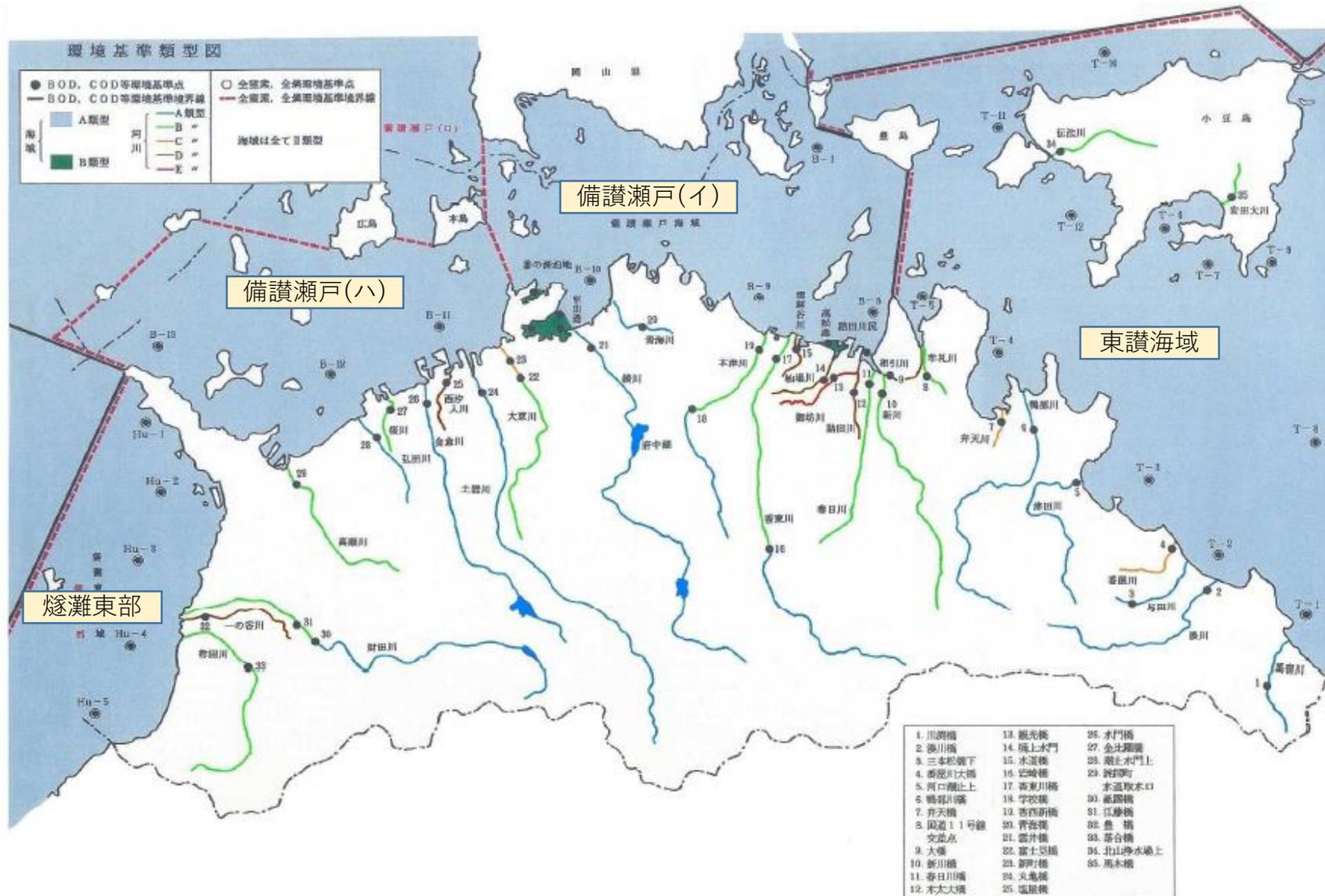


## 香川県における取組みの現状

令和 7 年 3 月 14 日

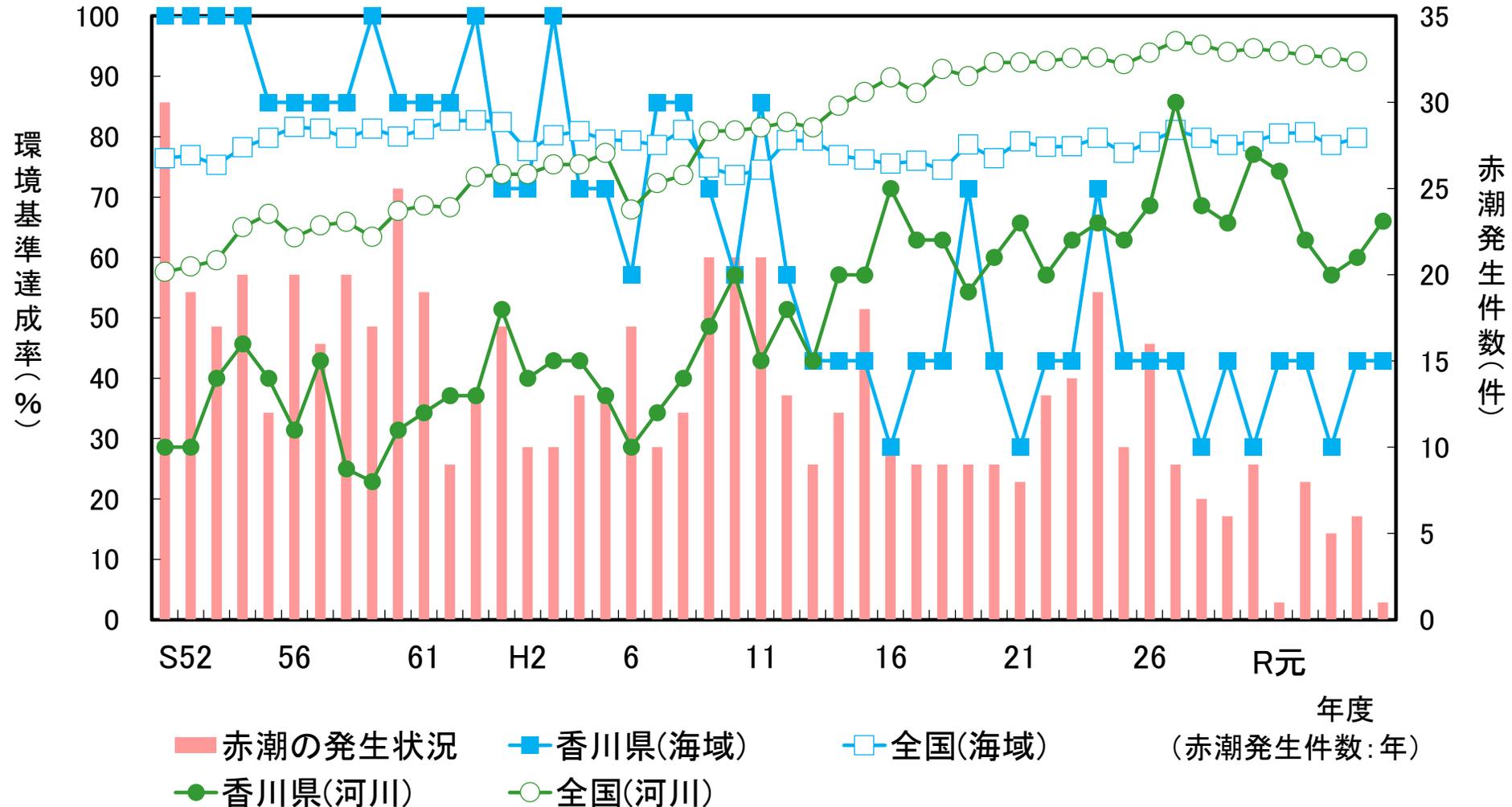
香川県環境森林部環境管理課

# 香川県の水質汚濁の状況について①



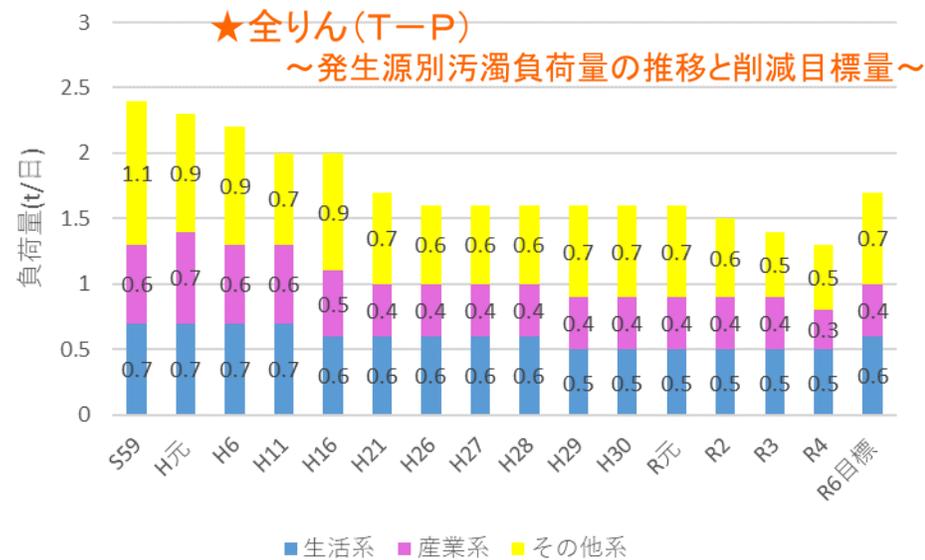
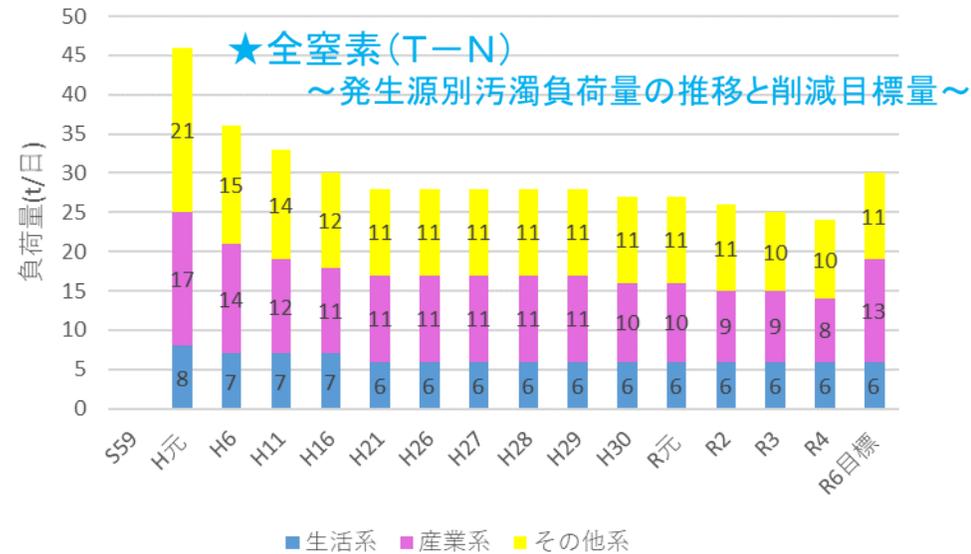
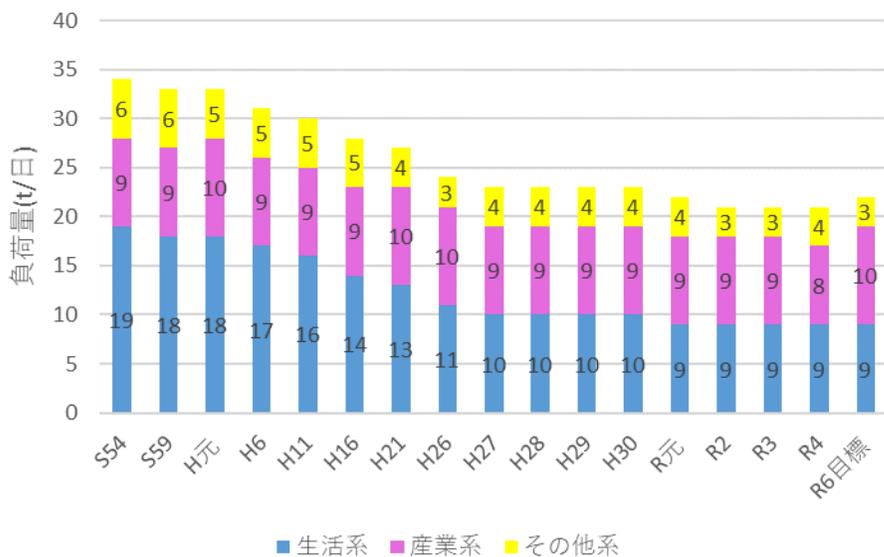
# 香川県の水質汚濁の状況について②

## 【環境基準(BOD・COD)達成率と赤潮発生件数の経年変化】



# 水質総量規制の実施

★化学的酸素要求量(COD)  
～発生源別汚濁負荷量の推移と削減目標量～



# 香川県生活環境の保全に関する条例

## ①水質保全対策

対象工場又は事業場	排水量 (m <sup>3</sup> /日)				
	平均 50	最大 50	平均 10	0	
①(水質汚濁防止法) 特定施設 ②(水質汚濁防止法) 指定地域特定施設 を設置する工場又は事業場	水質汚濁防止法による 規制※ 1		改正条例による 勧告※ 2		
③(現条例) 非鉄金属製造業の用に供す る緩処理施設を設置する工場	条例による 規制	改正条例による規制 (H24. 4. 1~)			
④(改正条例) 自動式鶏卵洗浄施設、生 うどんの湯煮施設、公衆浴場のちゅう房 施設等を設置する工場又は事業場					
上記以外					

※ 1…旅館業の事業場には、これまで適用外となっていた条例の上乗せ排水基準が平成 21 年 10 月 1 日から適用されます。  
(平成 21 年 10 月 1 日時点で設置されている事業場は、平成 22 年 4 月 1 日から適用されます。)

※ 2…規制対象以外の工場又は事業場についても、水質汚濁により生活環境に支障を及ぼしている場合は、  
勧告できる制度となっています。

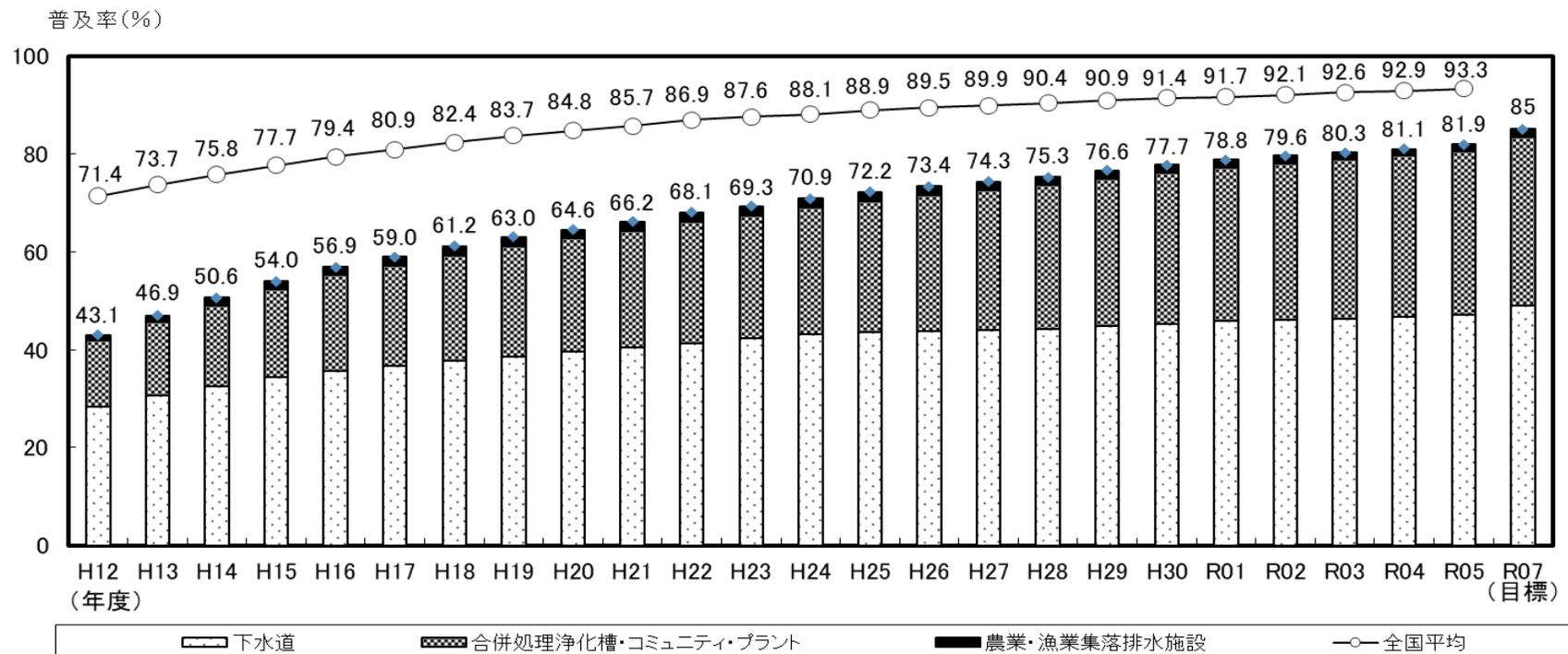


## ②地下水の保全・利用対策

## ③土壌及び地下水汚染対策

# 生活排水対策の取組み

## 汚水処理人口普及率の推移（香川県と全国平均）



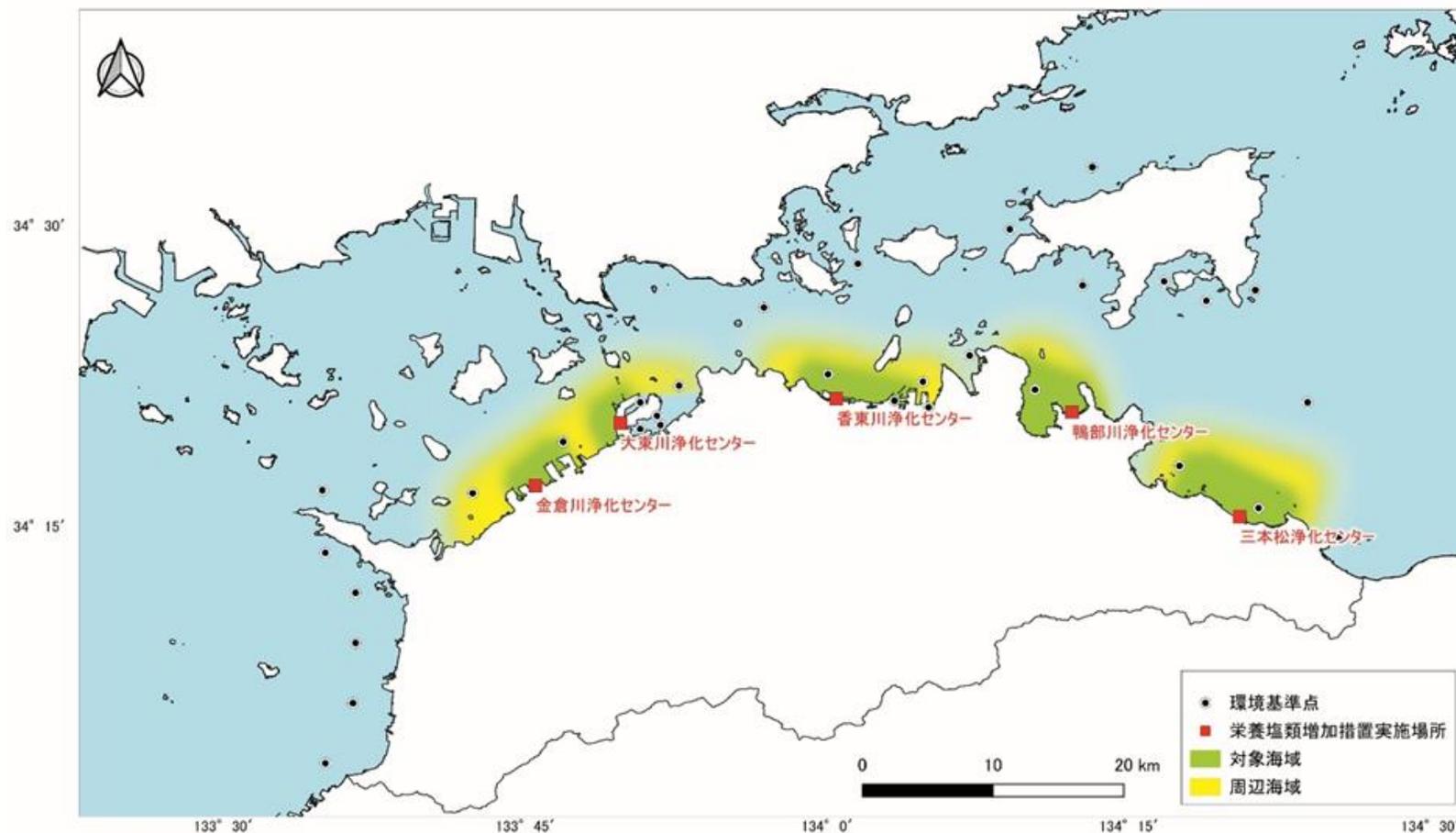
### ○第4次全県域生活排水処理構想（目標年度：令和7年度）

下水道・農業・漁業集落排水施設、合併処理浄化槽等の生活排水処理施設の効率的・計画的な整備を推進

### ○現在、次期構想（第5次）策定作業中

下水道共同化計画、栄養塩類管理計画の位置づけ、継続した生活排水処理施設の整備促進

# 香川県栄養塩管理計画～豊かな海を目指して～ ①



## ○令和6年3月策定、運用開始

本県海域で生物の多様性と水産資源の持続的な利用の確保の課題に対応するため、5つの下水処理場が季節別運転管理を行い、計画的に海域へ栄養塩類を供給

## 香川県栄養塩管理計画～豊かな海を目指して～ ②

### ○関係者の役割



### ○香川県栄養塩類管理推進協議会

- ・計画内容について広く意見を聞く場としてR5.1に設置、これまで3回開催
- ・栄養塩類増加措置を実施する者、漁業関係者、学識経験を有する者、各種団体の代表者、栄養塩類増加措置に関係する市町の代表、その他知事が必要と認める者で構成

# 香川らしい里海づくりの推進

## 香川の海が抱える課題

- ① 改善傾向が見られない「有機汚濁」
- ② 「栄養塩類」の循環バランスの崩れ
- ③ 増加傾向にあるが、依然として少ない「藻場」
- ④ 対応が急がれる「海ごみ」問題
- ⑤ 「人と海の関わり」の希薄化

➤ 香川県では、県土がコンパクトで人の暮らしと海が近いという特徴を生かし、**全県域・県民みんな**で、香川らしい「里海」づくりに取り組んでいる。

**かがわ「里海」づくり協議会** の設置 (H25.4)

→ 共有理念となる

**かがわ「里海」づくりビジョン** の策定 (H25.9)

## 「里海」を活かした新しい価値創造

～SATOUMIを香川から世界へ～



かがわ「里海」づくりビジョンより抜粋



# かがわ里海大学について

- 里海づくりに求められる人材の育成や、里海についての理解を広げていくことを目的に、平成28年4月、香川大学と共同で開校。(運営：かがわ里海大学協議会)
- 「大学」と言っても、特定の校舎を持つわけではなく、入学試験もない。
- 大人から子供まで、県民向けの様々な講座を年間30～40程度、随時開講。

## (実施講座の一例)

### 里海ガイド養成講座

里海体験ツアー等で、ガイドができるレベルの人材を養成する講座。アクティビティ開発など。

### 海ごみリーダー養成講座

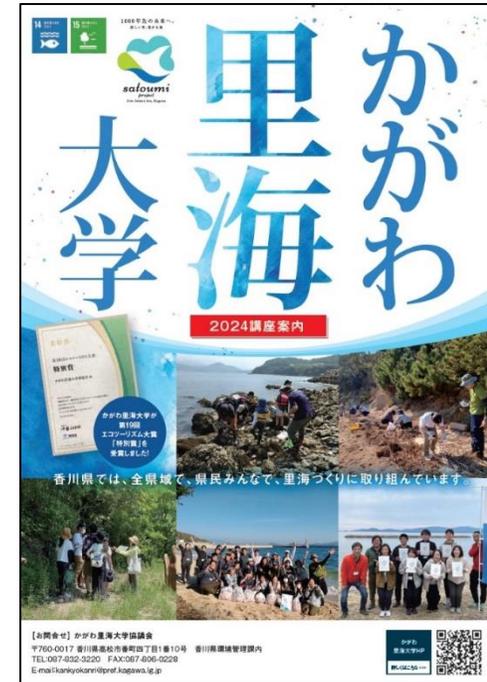
ビーチクリーンアップやモニタリング調査等の活動を主体的に企画・開催できる人材を養成。

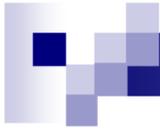
### 海の生き物観察講座

### アマモ場での観察講座

### 森と海のつながり体験講座

### 里海ボードゲームで学ぼう講座 など





撮影：小豆島

ご清聴ありがとうございました